

平成24年度 第1回特別史跡熊本城跡保存活用委員会 会議録（要旨）

1. 日 時：平成24年10月29日（月）14：00～15：30
2. 場 所：桜の馬場 城彩苑 多目的交流室
3. 出席委員 13名（敬称略）
 小堀 富夫（委員長）、伊東 麗子、今村 勝彦、岩下 直昭、上村 修生、北野 隆、
 富田 紘一、松本 寿三郎、丸野 香代子、毛利 秀士、安武 次郎太、山尾 敏孝、吉丸 良治
 欠席者 5名
 伊東 龍一、斎藤 英俊、千田 嘉博、高瀬 哲郎、田中 哲雄
4. 配布資料
 - ・ 資料1 （平成24年度委員会・部会開催内容について）
 - ・ 資料1-1 （平成24年度 第1回建築部会）
 - ・ 資料1-2 （平成24年度 第1回史跡部会）
 - ・ 資料2 （平成24年度 第1回活用部会）
 - ・ 資料3 （平成24年度 第1回計画策定部会）
5. 次第
 - (1) 開会
 - (2) 委員長挨拶
 - (3) 議事
 - ① 各部会報告各専門部会報告
 1. 史跡・建築部会
 2. 活用部会
 3. 計画策定部会
 - (4) その他
 - (5) 閉会
6. 議事録（要旨）

1. 建築、史跡部会について（資料1-1、資料1-2）【説明：熊本城総合事務所・整備班】

質問・意見	回答
<p>【北野委員】</p> <p>・ 資料1-1にある「熊本城の整備目的として、文化遺産そして観光資源として位置づけられているが、熊本城はどちらかという観光資源という印象がある。」という意見に対して、熊本市は文化遺産として整備しているのか。観光資源として整備しているのか。説明いただきたい。</p>	<p>【事務局】</p> <p>・ 文化財ということが大前提である。</p>
<p>【北野委員】</p> <p>・ 熊本城は今後どこまで復元するのか。全体像はどう考えているのか。今のままでやっていたらテーマパークになる。</p>	<p>【事務局】</p> <p>・ 幕末当時の姿に再現するため、幕末から明治初期に残された古写真、絵図、発掘調査の遺構の残存状況などの根拠資料を基に復元を進めている。復元整備計画にある残りの復元に</p>

質問・意見	回答
	<p>(前ページつづき)</p> <p>については、今後保存管理計画を見直す中で、復元整備計画のあり方についても、もう一度再認識した上で計画を見直していくことを考えている。</p>

2. 活用部会（資料2）【熊本城総合事務所・総務班】

質問・意見	回答
<p>【松本委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 奉行丸の一般開放は、単に開放しただけなのか。警備等含め考え方を説明して欲しい。 <p>【安武委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 奉行丸一般開放の際の火気使用についてはどのように取り扱っているのか。また一般開放した結果、芝が荒れるなどの問題はなかったか。 <p>【上村委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋のお城まつりでは、舞台後方に天守閣が見えすばらしい眺めだった。右側に座れば天守閣が見えたが、左側に座れば見えなかった。トイレの位置もあると思うが、南大手門と天守閣2つが入るよう舞台を配置すれば申し分ないと思う。 <p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 催し物の種類によってはよいが、頼当御門前はシャトルバスや奉行丸のイベントのためのトラックがどんどん通っている。400年前の空気に変わった方が一番良いと思う。 <p>【安武委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 南大手門を利用した籠城（宿泊）体験はできるだけ実施した方がよいと思うが、これまで問題はないのか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 夏休み期間中試行的に開放した。併せて南大手櫓門内において、本丸御殿の発掘調査の際、出土した遺物展示を行った。 利用者実績としては、平日100名弱、土・日・祝日は100から150名だった。 今回の警備は、通常入口1名、南大手門内1名の2名で、守衛、詰所職員が1日に何回か巡回する体制をとった。 新年度からの一般開放については、試行的とするか、常時開放するかについてはもう少し検討が必要と考えている。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 秋のお城まつり開催時に食事処としているため、その際多少火気使用している。 芝は養生できる形で対応している。また、警備員を配置していたこともあり、特に問題はなかった。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現在本市の青少年育成課主催で毎年開催している。これまで特に問題はなく、熊本城の文化を楽しんでもらえ、PRにもなる取組みと考えているので、今後も継続していきたい。

3. 計画策定部会（資料3）【説明：文化振興課】

質問・意見	回答
<p>【山尾委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 資料にある「現代になって建築された建物」という定義は、どこまでの建物を指すのか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 登録有形文化財の制度は、築50年を経過した建物が対象となる。但し、社会的状況、時代建築の様式を踏襲している建物になる。今回古京町別館（現在熊本城総合事務所）を登録有形文化財の追加対象とした理由は、昭和27年か28年に建てられ、一部改修しているもののエントランス部分などが残っている。そのような建物を対象としたらという意見が専門部会であったため。
<p>【山尾委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> それは史跡として位置付けするのか、それとも別の要素になるのか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> お城としての要素でなく、それを補完するその他の要素という位置付けになる。
<p>【上村委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州財務局分室用地を追加指定した理由は何か。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 九州財務局が売却予定の公告をしたいとの話があり、現地確認した。城壁を構成する旧坪井川の河川敷が残り、旧来の地形を残していることから、文化庁とも相談し、貴重な場所との認識により追加指定を考えている。
<p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 城彩苑は、特別史跡に指定しないのか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今後保存管理計画改訂していく中で、城域全体の地域区分や整備のあり方を検討していく上で、追加指定の方向性についてまとめていく。
<p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 城彩苑は既に建物が造られている。50年後の熊本城がこうなるというのが、特別史跡熊本城跡保存管理計画策定書（以後「策定書」という）である。その策定書に従って進めるべきである。何で慌てて造るのか。思いつきで進めているのか。また、前文化振興課長は、今後追加指定すると言った。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 時間的な問題や相手方（土地所有者）もいる話であるが、基本的には旧城域まで特別史跡指定を拡大していきたい。
<p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和57年の策定書では、桜の馬場は、武家屋敷に戻すと書いてある。策定書に準じて整備するというが、昭和57年の策定書のどの部分が悪いから作り変えるのか。 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 策定から30年近く経過し、復元整備などが変わった部分が出てきている。時代に合わせた部分と将来を見据えた部分で考えていかなければいけない。策定からかなりの年月が経っているため、改訂させていただきたい。
<p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 50年後も100年後も変わらないのが文化 	<p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本質的に文化財に変化はない。今後文化財

質問・意見	回答
<p>(前ページつづき) 財である。50年たったからからといって変化させたら文化財ではなくなってしまう。</p> <p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高麗門は城域指定できても、新町は追加指定できないのではないか。 <p>【小堀委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 昭和 57 年の策定の中から城彩苑は変わっているが、国立病院の建替えなど何となく次から次に侵略されているという感は否めない。しっかり受け止めてもらいたい。 <p>【毛利委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日本たばこ産業の建物（千葉城地区）があるが、現在使用されていない部屋が多くあるが、今後の情報はあるのか？ <p>【毛利委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 以前学生援護会の建物があった場所（藤崎台球場西側の現在駐車場）について、一新まちづくりの会で利活用案を作成し、所有者（国際教育事業団（東京都））に譲ってもらえないか相談したところ、目的は果たしたので教育、福祉等の目的であれば譲ってもよいとの返事までもらった。発掘調査などが必要となると思うが、地域で話を進めてよいか？ <p>【毛利委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 熊本市が今年 4 月から街並みの助成金制度をはじめ、数件認定受けている。城下町が風情を感じられる街にしていくため、高麗門、新一丁目御門、新三丁目御門の復元は重要な役割を果たすと考えている。 発掘調査が進んでいる高麗門の復元と併せて新一丁目御門の発掘調査の可能性について伺いたい。 <p>【小堀委員長】</p> <ul style="list-style-type: none"> 本日の意見を踏まえて、事務局は今後の各専門部会の審議を実施していただきたい。 	<p>(前ページつづき) をしっかり守っていききたい。</p> <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 新町地区全域を特別史跡として追加指定するのではなく、新町の当時の町割りやおおまかに残っている部分を対象として、残すべきかどうかを今後議論していく予定。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 今のところ熊本市に情報は入っていない。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 保存管理計画では、旧城域部分については幕末を設定している。新しい施設が建築できるかは今後の検討課題である。学生援護会がどのように考えられているか把握していなかったため、今後情報収集していきたい。 <p>【事務局】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高麗門については、県で詳細な調査を実施しているが、現状からして門の立体的な復元は難しいのではないかと考えている。JR高架下と側道を活用できないか模索したい。 新一丁目御門の発掘調査については、学術的な調査として位置付けられれば、現状変更の許可が必要となる。可能かどうかは文化庁・県と協議していきたい。 <p>【北野委員】</p> <ul style="list-style-type: none"> 高麗門については、元々2つ石垣台があって、今回片方の遺構が確認された。もう片方には家が建ち、今後建て替えされる時お願いすることになる。遺構が確認されれば、史跡指定して復元が可能になると思う。

(4) その他

(ア) 各委員より感想・意見等について

【伊東（麗）委員】

- ・ 検討されているが、先に進みづらいところがあると感じている。資料自体が大昔の資料からおこされてその資料を基に、短時間で意見を言うしかない。今後、会議の中で話ができないことでもいろんな質問があれば一生懸命答えていきたい。資料に関しては質問が多く出るように感じる。難しいと思うがもう少しわかりやすいものにしてもらえたら良いのではと思う。

【今村委員】

- ・ 本来であれば、まず策定書が作成（改訂）され、それぞれの専門部会で審議する形が、本来のやり方である。
- ・ 現在の策定書は、昭和57年度に策定されたものであり、当時文化庁が言っていることと現在言っていることは基本的に変わっていないが、構成要素の部分に若干の違いがある。それをどのように見方を変えていくか先生方の意見をまとめている段階である。できるだけ早めに作成し、全体的な方針を決めていきたい。

【岩下委員】

- ・ 城彩苑、特に湧々座をもっと活用して欲しい。例えば、修学旅行を誘致したり、県内小学生の社会科学見学に活用したりしてもらおうなど。
- ・ 今は熊本城を見学してから、湧々座を見学する流れになっている。逆の湧々座を見学した後に、熊本城を見学してもらおうともっと熊本城が生きてくると思う。

【上村委員】

- ・ 城彩苑は昼間たくさんのお客さんが入っているが、夜が少ないように思う。県市民が利用していないように思う。食事して二次会に街に行くにも遠く、タクシーでは近過ぎる。使い勝手が悪い面がある。また、ライトアップするには暗い方がいいかもしれないが、女性が街に行くにも長堀前を通るには暗くて怖い。そこで通りを明るくして通りやすくしたり、医師会館やNTTもあるので早く再開発され、飲み屋街ができたりすれば、回遊性をもたせることができていると思う。
- ・ 4月6日は「お城の日」であり、全国的にイベントが行われている。「熊本城の日」を設けたらどうか。4月14日が良いと思う。理由は、西南戦争で薩摩軍に攻撃され開放された日だからである。そうすれば、「お城の日」から連続してイベントが出来るのではないか。

【北野委員】

- ・ 熊本市は行幸坂から右（東）側を熊本城と思っているのではないか。右側ばかり復元して、いらぬところまで復元しているような気がする。高麗門や新一丁目御門など左（西）側も復元して欲しい。

【富田委員】

- ・ 長崎であった展示会で、熊本城の知られていない古写真があった。熊本城に関するいろいろな未発掘の情報が熊本以外にも転がっていると思う。そのような情報を取込みながらいろいろ進めて欲しい。
- ・ 熊本城のおもてなし武将隊が何人が集まって駄話をしていた。ディズニーランドのミッキーマウスはなりきって対応している。武将隊も一日中城内にいるのは大変だろうが、バックヤードを設け、休憩するときは見えないように休憩して、お客さんの前ではなりきって欲しい。これは役所側での対応という気がする。

【松本委員】

- ・ 一枚もって持って歩け、広げて見ることでできる熊本城の絵図が、これまで2度ほど出されたことがあり持っている。一枚で持って見ることができると便利と思う。熊本城や城彩苑でも販売していただけたらと思う。熊本城に来た人が買って見ればいい。

【丸野委員】

- ・ 活用目的とは何なのか。「熊本のDNAを次世代へ伝承するための活用」、「熊本城を通して熊本をアピールする」という二つの言葉が浮かんだ。

それを支えるのは文化財である熊本城、テーマパークである熊本城の両方という気がする。400年前の空気が伝わった方がいいというのは重要である。京都にどうしても何度も行きたがるかはベースに古（いにしえ）が息づいている。それを壊さないようにどのように保存するかである。心配だったのは、石垣は直さなければならぬけど、現代のものにならないようにと思いつつ写真を見ていた。それをくれくれもお願いしたい。

- 京都は古（いにしえ）のテーマパークでもある。同じように熊本城もテーマパークの要素を持たせざるを得ないというところは否めない。熊本城の中にいっぱい「熊本城何とかなの日」を作ってもらって熊本城が普通の人によくわかるのではないか。一般市民が熊本城をどのように大切にしていきたいかという視点からいうと、もっと近寄りた、身近になりたいというのがある。そのためには絵図もいいし、西南戦争だけじゃなく何とかなの日をいっぱい作って欲しい。
- 県外から来た客人をご案内する時に、ここから見た熊本城がすてきだというポイントを見つけている。ポイントをいくつも教えてほしいし、そういうテーマの写真コンテストを開催するなどたくさんイベントを開催してもらいたいと思う。

【毛利委員】

- 熊本城の外回りを案内することが多い。周りから石垣や櫓を見ると違った面でお城のすばらしさがよくわかる。
- 7月に大雨が降り、熊本城周辺でも何箇所もがけ崩れが発生した。藤崎台一角だけでも5箇所崩れ修理していただいている。特に県営野球場のクスノキに上がるところは未だ土嚢が積み上げられ通行止めになっている。藤崎台童園の方から上っていきこうと思うが参道が整備されていないので大変危ない。何とかクスノキに行くルートを整備してもらい観光資源として活用したい。
- 現地にクスノキの大きさや由来が書いてある看板を設置していただいている。年号の間違いは直していただいたが、幹周りの間違いはまだ直されていない。看板には、まだ11メートルと書いてある。環境省が発行している日本の巨木の資料を取り寄せたところ、環境省は20メートルと書いてある。どうして違うのか。通常測る時は地上から1～1.3メートルのところまで測っている。県は1～1.3メートルのところから更に1～1.3メートルのところまで測っているという返事をもらった。どうしてそのようになっているのか納得いかない。蒲生（がもう）、佐賀の武雄の大クスと同じ次元で調査したものを公表していただきたい。看板を見れば他のクスノキと比較して小さいと思われる。環境省の発表では日本で3位。安心して周辺を歩けるような熊本城の周辺整備は非常に大事だと思う。

【安武委員】

- 城主の方々には、ただ城主になってもらうばかりでなく、例えば、市内の城主の方には草むしりだとか行事の手伝いなど応援してもらって協力などしてもらってはどうか。お城まつりなどがある際は、県内、九州管内の城主に案内してもらってはどうか。
- 奉行丸、平左衛門丸の堀、高麗門跡など、できることであれば現地を見ながら検討会をしてみてはどうか。年1回程度でも専門部会でできるならばより深まると思う。

【山尾委員】

- 計画策定というか保存活用の策定が一番最初にありきだと思っていたら、計画策定は昭和57年策定している。策定したにもかかわらず古くなったから見直しますという中で復元がどんどん進んでいるという状況がわからない。
- 先程特別史跡を旧城域に拡大していきたいという話を伺ったが、今進めていることに齟齬がないようにしていただかないと示がつかない気がする。何が何でも計画策定を一番先にこの委員会は審議すべきではないか。
- どうして保存管理計画が策定されずに復元がどんどん先に進んでいるのか、まだまだ納得していない。熊本の特別史跡が旧城域まで全部史跡になるように計画を達成できるように段取りなどを先に示していただきたい。
- みんなで知恵を出さなければ計画策定は無理かなという気がしないでもない。そのような意味でも計画策定が一番最初に決めていただき、後で平行してできるものはいくらでもあるので

是非やっていただければと思う。

【吉丸委員】

- NHK跡地の問題、合同庁舎が移転予定の中、その後の計画をどのように位置付け、一般市民の立場からも納得できるような方向にできるか本当に大事な話である。何十年に一度出てくるような大きな問題であり、早めに論議を進め、計画の中に取り入れていくことが将来100年先の熊本にとって大事な話である。

【小堀委員長】

- 皆さんが言われるように計画が先ということは私も全くそう思う。それを考えていたら何もできないという市の考えがあるかもしれないが、基本的な問題であるから本日の意見を十分組んで検討いただきたい。

【北野委員】

- 建物を作る時はその土地の歴史を調べると建物の形はわかってくる。土地の歴史からやらないと非常に違和感があるので建物を作る時はきちんと考えて欲しい。